

「土曜日における学校教育の在り方」分科会

～第1回配付資料～

1 分科会の検討内容と進め方（案）

「土曜日における学校教育の在り方」分科会

■第1回

- ◆土曜活用の理念と方向性
- ◆モデル（素案）検討・協議
- ◆モデル（案）の作成・具体化に必要な観点及び方向性

■第2回

- ◆土曜活用のモデル（案）をもとにメリット・実施上の課題等について協議
- ◆モデル（案）のブラッシュアップ
- ◆モデル（案）実施上の課題整理

■第3回

- ◆全体会議への提案資料検討・協議、修正案確認

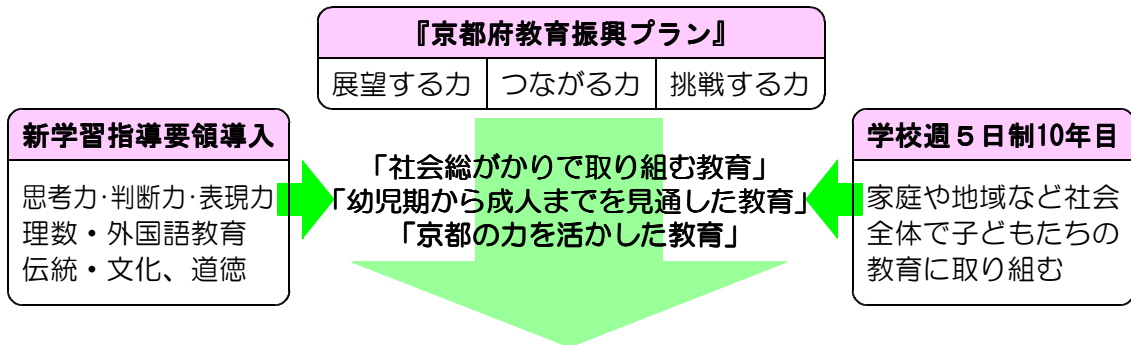
<参考>

分科会		メンバー	準メンバー
1	土曜日における地域の体験活動等の在り方	築山委員（分科会会長） 太田委員 難波委員 東委員 木原委員	加賀爪委員 中條委員 小田垣委員 松本委員
2	土曜日における学校教育の在り方	山口委員（分科会会長） 芦田委員 山本委員 卯瀧委員	加賀爪委員 中條委員 小田垣委員 松本委員
3	教員の勤務環境の改善に向けた法制度の等の検討	橋本委員（分科会会長）	加賀爪委員 中條委員 小田垣委員 松本委員

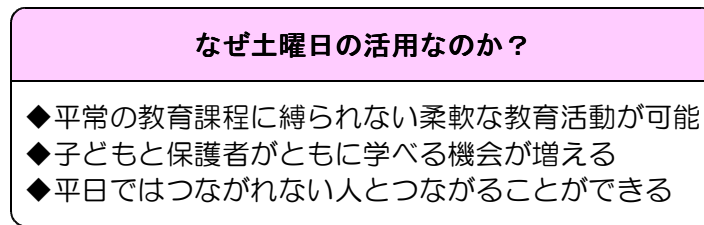
<備考>

- ◆各分科会は8～10月中に計3回程度実施する。
- ◆メンバーは原則として所属分科会に参加するが、他の分科会への参加も可能である。
- ◆準メンバーは小・中・高・特別支援学校の校長とし、必要に応じて出席を依頼する。
- ◆分科会長と事務局で相談の上、臨時メンバーを決定し、参加を依頼することがある。

なぜ土曜日の活用なのか？



これらの教育を積極的に進めるために
平日以外の取組(=土曜日の有効活用)を模索



土曜日の過ごし方の評価と今後の在り方

<評価>

- ◆子どもは家庭での生活時間は多いが、地域での生活時間が少なく、土曜日をより有効に過ごすための取組の余地がある。
- ◆保護者は子どもの土曜日の過ごし方に概ね満足しており、その上で学校や地域による教育活動にも期待している。
- ◆教職員については平日の過密感や土曜勤務による負担感を解消・軽減する必要がある。

<今後の目標>

- ◆学校週5日制の趣旨の下で京都府が進めてきたこれまでの取組状況や成果を踏まえ、より充実した土曜日の過ごし方を実現する。

<具体的方策>

- ◆地域の体験活動等の充実……①
- ◆家庭の教育力のさらなる向上……①②
- ◆学校と地域が連携した取組の強化……①②
- ◆柔軟で弾力的な教育活動の展開……②
- ◆教職員の負担軽減とリンクしたしくみづくり……③

※それぞれの分科会で上記<具体的方策>について検討

①…「土曜日における地域の体験活動等の在り方」分科会

②…「土曜日における学校教育の在り方」分科会

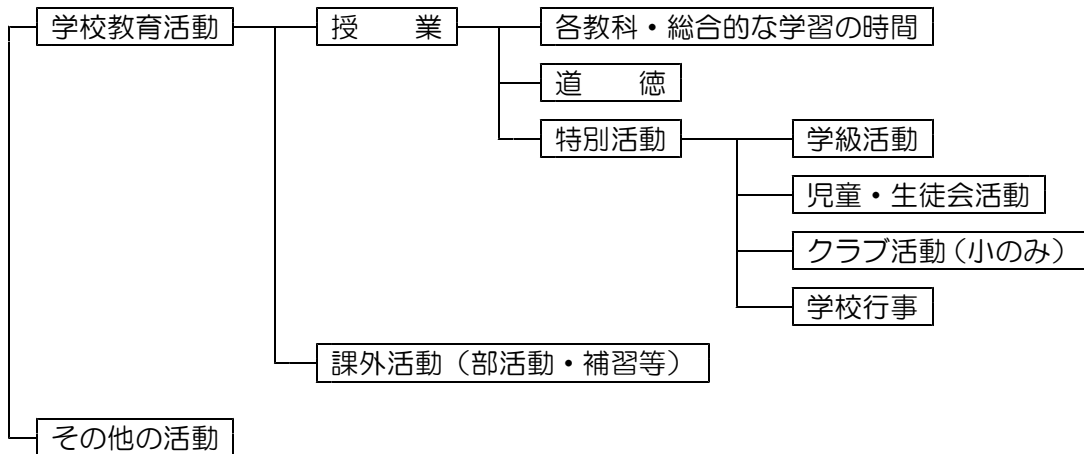
③…「教員の勤務環境の改善に向けた法制度等の在り方」分科会

3

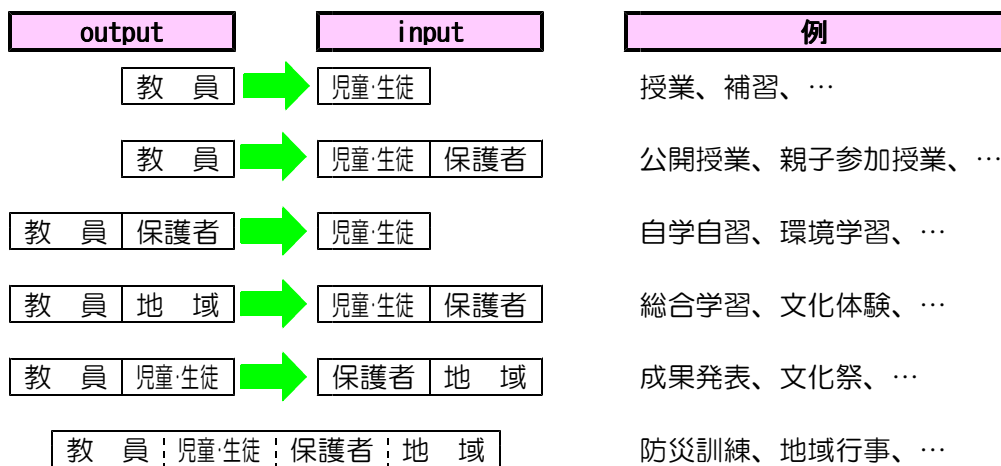
モデル（案）の作成について

作成の観点

■教育課程内外の位置付け



■参加形態



■実施回数・授業時間

■ねらい

■メリット・実施上の課題

■これまでの取組との関連

◆学校支援地域本部 ◆まなび教室 ◆ふりスタ 他

モデル(素案)

内 容	参加形態	回 数
「振り返り」授業 月末の土曜日に各児童・生徒の理解度を確保するために「振り返り」要素の強い授業を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・保護者が子どもの学習進捗状況を確認できるよう公開授業とする ・授業時間を弾力化（内容により20分程度など） ・地域の人がサポーターとして支援 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 教員 地域（サポート） </div> <div style="text-align: center;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 児童・生徒 保護者（参観） </div>	月1回程度
地域教材による総合学習 年間を通した「テーマ」を設定し、土曜日に集中的にフィールドワーク等を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の歳時記を体感したり、地域の昔の遊びを実践 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 地域 教員（サポート） </div> <div style="text-align: center;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 児童・生徒 </div>	月1回程度
これまでの取組の拡充 小学校1年生と幼児のみでの土曜授業実施 2時間程度参観型授業を実施後、毎回保護者を含めた交流会（親のための応援塾など）を実施	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 教員 </div> <div style="text-align: center;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 児童 保護者（参観・体験） </div>	年2回程度
地域安心・安全授業 児童・生徒が保護者や地域の方と共に登校しながら危険箇所などを確認し、引き続き授業のなかで地域の安心安全マップづくりに取り組む <ul style="list-style-type: none"> ・授業開始時刻にゆとりをもたせる（9時開始など） ・保護者や地域の人が授業に参加 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 教員 保護者・地域 </div> <div style="text-align: center;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 児童・生徒 保護者・地域 </div>	年1回程度
研究発表授業 中学生が調査・研究した学習の成果を地域の方に発表したり、公共機関とワークショップ <ul style="list-style-type: none"> ・地理公民でのフィールドワークをもとに地元自治体職員と児童・生徒が協議 ・体育、音楽、美術等で身に付けた知識、技能を地域の方に還元 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 生徒 教員（サポート） </div> <div style="text-align: center;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 地域 </div>	年数回
地域行事と学校行事の融合 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の運動会や文化行事と学校運動会や文化祭の合同実施など 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 児童・生徒 教員 保護者 地域 </div>	年1回程度

現在も上記モデル（素案）に類似する取組を平日等に行っている場合があるが、このような取組を土曜日に集中的にシフトすることで、より質の高い教育を実践できるとともに、平日の教育課程（時間割）を柔軟に編成することが可能となる。